

地元の川を守ろう 河川の美化活動へご協力ください

毎年7月は「河川愛護月間」です。自然に恵まれた河川は、私たちの大切な資源や財産であり、地域社会に憩いと潤いを与えます。環境を守り、安全で美しい河川を未来に残しましょう。



問い合わせ 建設課管理係 (☎35-0902)

例年、市民の皆さんが地元の河川の除草など美化保全や愛護活動を実施しています。地元の皆さんの愛護活動が、河川の景観向上や災害予防につながります。私たちの身近な自然空間である河川の大切さを再確認することにもなりますので、ぜひご協力ください。

リバーフレンドシップ

県が管理する河川での美化活動を行う際には、「リバーフレンドシップ」制度を活用ください。草刈り、混合ガソリンなどの必要な資材の貸与や支給、保険加入を支援しています。詳しくは、市建設課へ問い合わせください。

※リバーフレンドシップに関する制度内容は、県ホームページ(右記)をご確認ください。



●国土交通省直轄河川事業の紹介

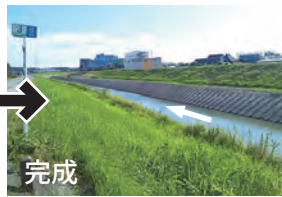


近年は、大型の台風に加え、異常気象による局地的な豪雨が全国各地で頻発し、甚大な被害が生じています。洪水や氾濫を未然に防ぐため、国土交通省浜松河川国道事務所では、令和元年度から2年度において、菊川および牛淵川本川、その他支川を含めた広範囲で河道掘削や雑木伐採などを実施しました。

菊川市・掛川市の流域全体で、およそ20万㎡の土砂を搬出し、河川の流下能力が大幅に確保されました。



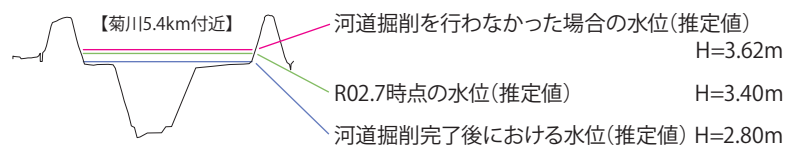
◀一級河川菊川に架かる矢田部橋から下流を望む場所



◀一級河川牛淵川に架かる堂山橋から下流を望む場所

⇐・・・水流の向き

●対策により、水位低下効果が得られました(令和2年7月28日出水)



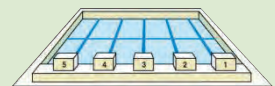
小さな積み重ねで被害を軽減

大雨の時に、お風呂の水を流さず、貯めたままにしておくと、河川への流入が軽減され、調整池と同じ効果を得ることができます。例えば、菊川市の家庭のお風呂で計算すると、およそ320万リットル(25メートルのプールおよそ7面分)の貯水量になります。



一般家庭のお風呂
(200リットル)
×
およそ1万8,000世帯

=



25メートルのプール
(48万リットル)
×
7.5面分